

懺悔と祈り 途絶えぬ行法

「お水取り」として知られる奈良・東大寺の「修二会」。今年初代別当(住職)の良弁僧正(689~774)の1250年遠忌で、2~3月の修二会期間中に二月堂で唱えられる声明が、大阪国際フェスティバルの一環として大阪・中之島で5月に特別公演される。寺外での披露は14年ぶり。修二会とは何か、僧はどんな気持ちで声明を唱えるのか。橋村公英管長に聞いた。

心に描く観音さま 人生の支えに

修二会は旧暦2月に行われる行法のことで、十一面悔過法要です。人間は間違ったことをします。それが積み重なり、現在の自分、未来の自分、ほかの人にも影響します。たとえば、「戒」をおろそかにしましたと告白し、間違っていたと懺悔する。これが悔禍です。

お釈迦さまも人生は苦だとおっしゃいました。だけれど死ぬまでの間、支えが必要になるときがきます。僧だけでなく、お参りに来た人も遠くで祈る人も、自分自身の心に思い描く観音さまが支えになります。

東大寺・橋村公英管長に聞く

修二会が始まったのは奈良時代の752年の旧暦2月です。この年の4月に大仏が開眼したので、大仏とともに歴史が続いています。平安末期の平家による南都焼き打ち、戦国時代の松永久秀や三好三人衆による戦火、江戸時代の二月堂の火災、太平洋戦争があっても、一度も途絶えることなく続いているので「不退の行法」と呼ばれます。今年で1272回目です。宝亀4年閏11月24日、774年から773年に良弁が亡くなる

り、弘法大師が生まれました。その間をつなぐように活躍したのが、良弁の高弟で、修二会を始めた実恵和尚です。

かつては東大寺の僧にも、修二会は秘儀という意識が強かったと思います。観音さまを称える行法を、お寺の外でやるべきではないという意見もありました。ただ、時代が変わり、どういうことを行い、祈っているのか知ってもらってこそ修二会だろうという考え方に東大寺も変わりつつあるように思います。もちろん、宗教行事ですから、秘仏の観音さまをはじめ見せられない部分もあります。

実恵は笠置山の洞窟から兜率天に行きました。そこには弥勒菩薩がおられ、人間界に下りるのを待っています。兜率天で行われる悔過の行法を見た実恵は人間界に移したいと考えます。ただ、兜率天と人間界では時間をはじめ、いろいろと違う。解消しないと人間界では行えないと言われます。その一つが本尊です。人間界では仏像を本尊にしますが、兜率天では生身の菩薩のまゝで行います。

声明を唱える側とすると、ふつとは大仏さまをはじめ仏像の前で、その姿を見ながら祈ります。ただ、二月堂の本尊の観音は秘仏です。誰も見たことがなく、姿がわからない。声明を唱えながら、心のなかで観音さまの姿を思い浮かべます。お顔はどうか、手には何を持っているのか。それぞれが、それぞれの観音さまを作り上げています。(聞き手・岡田匠)



新井義顕撮影



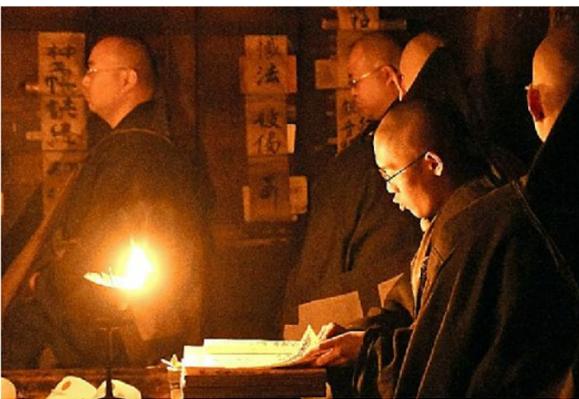
五体投地をする練行衆=2008年3月2日、いずれも奈良市



厨子に納められている秘仏の小観音に祈りを捧げる練行衆=2014年3月8日



二月堂で須弥壇のまわりを走りながら祈る練行衆=2017年3月7日



東大寺にゆかりがある人たちの名前が載った過去帳を読みあげる練行衆=2020年3月5日

5月特別公演 14年ぶり寺外で披露

■東大寺開山山良弁僧正千二百五十年御遠忌記念 特別公演「東大寺修二会の声明」

5月13日(土)午後2時▽出演:東大寺一山僧侶ほか▽初夜の悔過作法・大導師作法/走り/後夜の悔過作法・大導師作法・咒師作法/晨朝の悔過作法(予定)▽S席8500円、A席7500円ほか。本日午前10時一般発売▽協賛:朝日放送グループホールディングス、関西電力、ダイキン工業、大和ハウス工業、高砂熱学工業、竹中工務店、西原衛生工業所 □関連講座「東大寺の修二会 お話と花ごしらえ体験」3月26日(日)午後1時~同3時半(予定)、アサコムホール(中之島フェスティバルタワー12階)▽講師:北河原公慈(東大寺録事)▽受講料3800円、定員40人▽参加申し込みは1月23日から朝日カルチャーセンター中之島(06・6222・5224)で受け付け

■4オケの4大シンフォニー2023 ブラームス生誕190年

4月15日(土)午後2時▽大阪交響楽団(山下一史指揮)交響曲第3番、日本センチュリー交響楽団(飯森範親指揮)交響曲第4番、関西フィルハーモニー管弦楽団(飯守泰次郎指揮)交響曲第2番、大阪フィルハーモニー交響楽団



山下一史 飯森範親 飯守泰次郎 尾高忠明

(尾高忠明指揮)交響曲第1番▽S席1万円、A席7500円ほか。発売中▽協賛:朝日放送グループホールディングス、京阪ホールディングス、サントリーホールディングス、竹中工務店

■提携公演「東京都交響楽団・大阪特別公演」

4月16日(日)午後2時▽指揮:大野和士▽マーラー「交響曲第7番」▽S席6千円、A席4500円ほか。発売中

■祝100周年!オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ特別演奏会「カルミナ・ブラーナ」9月2日(土)午後3時▽指揮:大植英次、大阪フィルハーモニー合唱団、岸和田市少年少



大植英次(飯島隆)



オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ ©飯島隆

女合唱団、独唱:老田裕子、清水徹太郎、青山貴▽大栗裕「大阪俗謡による幻想曲」、カール・オルフ「カンタータ『カルミナ・ブラーナ』」吹奏楽編曲版ほか▽4月一般発売予定▽協賛:朝日放送グループホールディングス、京阪ホールディングス、竹中工務店